

特記仕様書

第 1 章 総 則

第 1 節 適 用

本特記仕様書は、神石高原町小畠における、頭首工整備工事の施工に適用する。

第 2 節 概 要

本工事は、河森頭首工の更新及び補修を行うものである。

第 3 節 工事施工範囲

本工事の施工範囲は、次に示すとおりとする。

① 頭首工

名 称	数 量	改修内容	備 考
扉体	1 門	現場塗装	扉体両側に仮設架台を設置し、吊上げて塗装
水密ゴム	1 式	更新	側部・下部
油圧配管	1 式	更新	建屋貫通部及び水路内埋設部は残置(シリンダ接続部は更新)
油圧シリンダー	2 基	整備	本体:現場整備 ラム:工場整備
油圧ユニット	1 台	部品取替	油圧ポンプ、リリーフ バルブ

② 仮設工

仮締切工、仮設架台、仮排水管等

③ その他

本施設の塗膜くずは、鉛及び総クロムが含有しているため、関係法令に従い作業の実施が必要となる。

第 4 節 準拠基準

1. 本設備の設計並びに施工に対し、機器の製作・据付・工事は下記の諸規定に準拠するものとする。これらの基準等は、契約時点における最新のものを適用しなければならない。
 - ① 「土木工事共通仕様書」農林水産省及び広島県
 - ② 「土木工事施工管理基準」農林水産省
 - ③ 「施設機械工事等共通仕様書」農林水産省
 - ④ 「施設機械工事等施工管理基準」農林水産省
 - ⑤ 「鋼構造物計画設計技術指針(水門扉編)」農林水産省
 - ⑥ 「鋼構造物計画設計技術指針(小型水門扉編)」農林水産省
 - ⑦ 「水門鉄管技術基準」 水門鉄管協会
 - ⑧ 「日本工業規格(JIS)」
 - ⑨ その他、関係法令・規定等
2. 受注者は契約書・仕様書・設計書並びに図面に従い誠実に工事施工に当てるのは勿論のこと、監督員の指示に従わなければならない。
3. 重要な指示事項はすべて文書によって処理し、双方とも確認しておくものとする。
4. 本仕様書に明記されていない事項についても、機能上当然必要と認められるものはすべて受注者が充足するものとする。

第 5 節 交通規制方法

1. 現地着手にあたり関係機関と十分協議し、交通規制図等を提出し監督員の確認を得ること。
2. 道路使用許可申請書を提出する際は、事前に監督員から内容の確認を得ること。

第 6 節 提出書類等

提出書類は 2 部(承諾後の返却分を含む)を作成し監督員に提出するものとする。

- ① 施工計画書
- ② 計算書
- ③ 詳細図
- ④ 施工管理記録
- ⑤ 完成図書
- ⑥ 施工図
- ⑦ 工事写真
- ⑧ その他監督員が必要と認めた図書

なお、完成図書及び施工図の内容、編集等については監督員と打合せのうえ作成するものとする。
また、提出書類に変更が生じた場合はその都度変更書類を提出するものとする。

第 7 節 検 査

工事の既済部分検査、完成検査にあたっては、現場代理人及び主任技術者が立ち会いの上、検査を受けなければならないものとし、監督員の指示した工事段階の区切り等に監督員の検査を受けるものとする。

第 8 節 疑義事項

本仕様書で疑義ある事項については、双方協議の上決定するものとする。

第 2 章 輸 送

第 1 節 輸 送

本設備に伴う各種機器の輸送と保管は間違いのないよう行うものとする。

輸送は据付作業及び道路状態を確認し、厳重に荷造りした上、変形・破損の起こらないように行うものとする。

第 2 節 輸送方法

各種機器の現地搬入に関しては工場検査合格後とし、予め輸送の順序・方法について監督員の承諾を得なければならない。

第 3 節 荷受け・保管

据付現場における荷受けと保管についての責任は受注者が負うものとする。

第 3 章 機器据付工事

第 1 節 一般事項

1. 本設備が十分に機能を発揮し、その目的が支障なく行えるように図面及び仕様書に従って設備機器一切の据付を行うものとする。
2. 機器一切の据付にあたっては、工事工程表に基づいて行うのは勿論のこと、監督員の指示に従わなければならない。
3. 据付にあたっては、必ずそれぞれの担当技術者による指導のもと作業を行う。
4. 機器据付時には精密な芯出しを行い、据付を行うこと。
5. 現場据付の着手に先立ち官公署等の諸手続を完了し、承諾及び許可を受けた後着工するものとする。
6. 現場据付工事には、業務に熟練する現場責任者を常駐させ、監督員の監督指導のもとに作業を行うものとする。
7. 工事に際して建築物に損害を与えないようにするのは勿論、万一損傷した場合には監督員の指示に従い、受注者の負担により復旧する。